



## いよいよ始まる 九条守れの闘い

総選挙の結果残念ながら改憲派が「圧勝」となり、いよいよ本格的に改憲の動きが始まると予測されます。

小選挙区では74%の議席を獲得したとはいえ、自民党の得た票は選挙区では48%、比例では33%です。投票率は54%ですから、有権者全体ではそれぞれ24%、17%に過ぎません。選挙制度のマジックであって、国民の声を反映していません。

野党共闘にくさびを入れた希望の党は一時党代表かと思われた若狭氏も落選引退？小池氏は都政専念と称して逃げ腰。仕掛け人の前原氏は引退？そして結果的に元民進党が8割近いという当選議員の党内から改憲反対の声が上がっている。参議院を含む民進党は行方定まらず。公明党は代表の発言が揺れている。維新も「今はその時ではない」などとも発言。日本のこころに至っては党首の中山恭子氏が離党して希望に合流。与野党とも複雑で、世論の動向を見ています。日本の平和憲法がどうなるか世界の注目度も上がっています。

九条の会の目標は第一段階で国会の改憲発議をさせないだけの議席を確保する事。最悪第二段階でも国民投票で改憲賛成の票を過半数にさせないことです。国民は明らかに戦争を望んでいません。そして九条を変えることも望んでいません。野党共闘がしっかりできれば安倍政権を倒すことは可能です。

いよいよ安倍政権は憲法改正に動き始めるでしょう。まさに安倍晋三氏が今回の解散総選挙で狙ったように、彼らの狙う憲法改正が実現できるとしたら今しかないと考えているからです。

いよいよ本格的な九条を守る戦いが始まっています。力を合わせてがんばりましょう。

## 安倍改憲NO！ 「全国市民アクション」 3000万人署名開始

突然の総選挙直前、安倍政権による憲法九条改憲に反対するために、新たに市民らによる「安倍9条改憲NO！全国市民アクション実行委員会」が結成され、署名が始まっています。来年5月までに3000万人の請願署名を目指します。

安倍の奇襲攻撃はとりあえず成功？し突然の総選挙は改憲派の勝利となりました。

しかし国民世論は「九条維持」「変える必要はない」というのが多数です。しかも安倍総理続投を望まないというのが多数。この世論を結集して九条を守り、平和を望む声が真の国民の意思であることを改めて確認し合うための運動です。署名の数を集めるだけでなく、「平和憲法九条を守ろう」という呼びかけを広げ、大きな流れとするための活動です。

この運動の成功は、憲法を守るだけでなく平和憲法を活かした国政を前進させるための大きな一歩になることでしょう。

「九条の会・流山」では取り扱い団体名を記入した用紙を用意しています。ニュースにある事務局のメンバーの電話にご連絡ください。お届けします。お知り合いの方にぜひ奨めてください。そして集める活動への参加を呼びかけて下さい。

また、これを機会に九条の会の宣伝署名活動にも参加して下さるようお願いします。

### 北朝鮮に助けられた 麻生氏の本音

時事通信は麻生太郎副総理兼財務相は東京都内で講演し、今回の選挙結果について「明らかに北朝鮮のおかげもありましょうし、……」との発言を紹介しています。思わず冗談っぽく話したというより「特に日本海側を遊説していると、つくづくそう思っているというような声を掛けられた」とも語ったというのですから本音なのでしょう。

